



株式会社 オプトラ

～ AIスマホ向けが貢献、3Q業績は増収増益 ～

2024年12月期3Q及び1～3Q 決算説明資料

2024年11月12日

光学薄膜装置



蒸着装置

半導体光学融合装置



半導体光学膜用スパッタ装置

電子デバイス装置



ALD(原子層堆積)量産装置

□ 24年12月期3Q(7～9月)の連結受注高及び業績実績

3Qの受注高(期末為替調整)は期末の円高影響で前年比2%減の42億円と減少したが、実質ベースでは同114%増の62億円と好転。実質ベースではAIスマートフォン(AIスマホ)、EV/コネクテッドカー、光学部品や光電子(Micro LEDなど)向けが牽引。3Qの売上高はカメラモジュールを中心とするAIスマホ向けの増加により、同6%増の85億円、営業利益も同25%増の24億円と拡大。経常利益は為替差損やデリバティブ評価損の縮小で同138%増の25億円に回復。親会社株主に帰属する純利益は法人税等の負担減で同261%増の23億円と好転。

□ 24年12月1～3Q期の連結受注高及び業績実績

1～3Qの受注高は前年比13%増の226億円、実質ベースでは同37%増の212億円。売上高は同13%減の252億円、営業利益は同26%減の63億円、経常利益は同31%増の70億円、親会社株主に帰属する純利益は同33%増の54億円。通期業績計画の進捗率は売上高が68%、営業利益が84%、経常利益が92%、親会社株主に帰属する純利益が101%と利益面の進捗率が高い。期末為替レートは1Q末151.41円、2Q末161.07円、3Q末142.73円。営業利益感応度は1円/ドルの円高で△1.5億円、0.1円/人民元の円高で+1億円の影響。

□ 24年12月期の業績予想の見直しと事業環境の変化

当社は24/12期業績予想を1～3Qの実績を踏まえて、売上高320億円(従来370億円)、営業利益76億円(同75億円)、経常利益82億円(同76億円)、親会社株主に帰属する純利益60億円(同54億円)に見直した。株主価値の向上に向けて、連結配当性向30%以上を前提とする安定配当と機動的・戦略的な自己株式取得を検討している。当社はAIスマホ向け光学薄膜装置を主力としているが、スマホ需要の伸び悩みで受注面でやや盛り上げりを欠くものの、EV/コネクテッドカー向けの引き合いや生成AI関連のWDM関連が増加している。

受注高及び業績



図表1: 受注高、業績及び1株当たり指標・財務指標要(単位: 百万円、円、%)

項目	決算期	18/12	19/12	20/12	21/12	22/12	23/12	24/12						前年比%					
								1Q	2Q	3Q	1-3Q	通期新予	通期前予	1Q	2Q	3Q	1-3Q	通期新予	通期前予
受注高		39,821	36,062	28,606	35,435	43,124	24,080	11,136	7,301	4,192	22,629	-	-	16.4	20.0	-2.5	13.4	-	-
受注残高		39,228	32,468	23,583	28,126	36,947	24,219	24,058	25,979	21,659	21,659	-	-	-35.8	-18.0	-22.5	-22.5	-	-
売上高		44,763	42,822	37,491	30,892	34,304	36,807	11,298	5,380	8,511	25,189	32,000	37,000	24.7	-54.6	6.3	-12.9	-13.1	0.5
売上総利益		17,436	17,697	14,682	13,390	14,948	18,454	5,917	2,168	4,094	12,180	-	-	31.9	-63.6	-5.2	-18.0	-	-
研究開発費		3,103	3,173	3,151	3,065	3,410	4,329	908	1,029	657	2,595	3,700	3,700	-80.2	1.5	-41.8	-17.5	-14.5	-14.5
営業利益		10,690	10,879	8,628	7,025	7,449	9,752	3,965	-23	2,377	6,319	7,600	7,500	51.7	-	24.8	-26.2	-22.1	-23.1
経常利益		10,993	11,031	8,610	7,901	8,763	6,051	4,325	92	2,549	6,966	8,200	7,600	138.3	-96.2	137.9	30.6	35.5	25.6
税前利益		10,748	11,488	8,678	8,773	9,405	5,998	4,321	92	2,547	6,960	-	-	138.1	-96.2	137.8	30.5	-	-
法人税等		3,001	2,386	1,874	2,440	2,512	1,325	1,030	165	251	1,446	-	-	148.8	-52.6	-37.1	24.6	-	-
当期純利益		7,746	9,102	6,797	6,330	6,890	4,632	3,284	-110	2,267	5,441	6,000	5,400	134.1	-	-	32.7	29.5	16.6
1株当たり当期純利益		187.6	216.7	159.1	146.8	159.0	106.1	75.0	-2.6	51.5	123.8	136.2	123.2	132.5	-	258.3	55.5	28.3	16.1
1株当たり配当金		55.0	60.0	50.0	50.0	50.0	50.0	0.0	26.0	0.0	26.0	52.0	52.0	-	-	-	-	4.0	4.0
1株当たり純資産		676.2	821.1	919.0	1,066.0	1,199.1	1,285.3	1,343.9	1,388.5	1,347.0	1,347.0	-	-	12.5	9.6	3.4	6.3	-	-
受注高/売上高		0.89	0.84	0.76	1.15	1.26	0.65	0.99	1.36	0.49	0.90	-	-	-	-	-	-	-	-
売上高総利益率		39.0	41.3	39.2	43.3	43.6	50.1	52.4	40.3	48.1	48.4	-	-	1.9	-9.9	-5.8	-3.0	-	-
売上高研究開発費率		6.9	7.4	8.4	9.9	9.9	11.8	8.0	19.1	7.7	10.3	11.6	10.0	-3.0	10.6	-6.4	-0.6	-0.2	-1.8
売上高営業利益率		23.9	25.4	23.0	22.7	21.7	26.5	35.1	-0.4	27.9	25.1	23.8	20.3	6.3	-34.6	4.1	-4.5	-2.7	-6.2
法人税率		27.9	20.8	21.6	27.8	26.7	22.1	23.8	179.3	9.9	20.8	-	-	1.0	165.0	-27.4	-1.0	-	-
棚卸資産回転日数		327.1	220.4	178.4	268.1	385.2	357.7	275.0	530.5	347.1	396.6	-	-	-40.5	59.1	-29.7	4.6	-	-
自己資本利益率		30.6	29.0	18.3	14.8	14.0	8.5	23.7	-0.8	15.6	10.9	-	-	12.3	-16.4	11.0	-2.2	-	-

注: 会計は日本基準、新予は当社新規予想、前予は当社従来予想、数値は百万円以下を四捨五入で算出、当期純利益は親会社株主に帰属する数値、利益率の前年比%欄は前年比増減

貸借対照表及びキャッシュ・フロー計算書



図表2: 主な貸借対照表及びキャッシュ・フロー計算書の概要(単位:百万円)

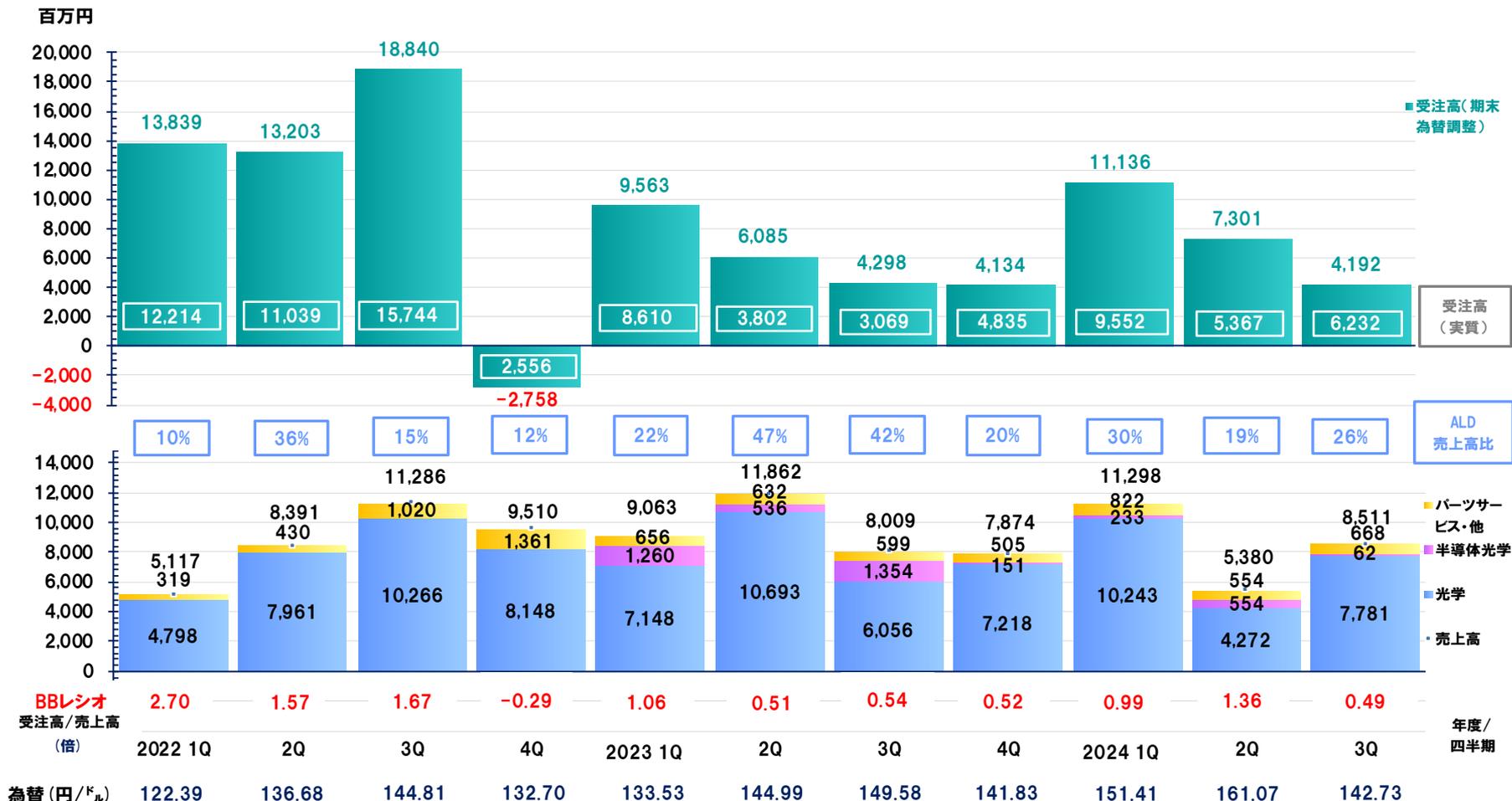
項目	決算期末	18/12	19/12	20/12	21/12	22/12	23/12	24/12 1Q	24/12 上期	24/12 3Q
資産の部										
現金及び預金		15,741	26,970	22,723	32,274	34,923	33,054	33,329	32,193	30,967
受取手形・売掛金(貸倒引当金含む)		6,417	3,902	9,426	5,627	7,423	4,882	3,206	4,353	4,518
棚卸資産		24,487	15,173	11,147	12,855	20,430	17,989	16,213	18,670	16,804
原材料及び貯蔵品		4,339	4,070	3,850	5,804	10,460	8,790	9,365	8,363	7,212
仕掛品		20,148	11,103	7,297	7,051	9,970	9,199	6,848	10,306	9,591
流動資産		48,142	47,194	44,572	53,145	65,401	57,632	55,184	57,372	54,410
固定資産		7,502	9,315	9,755	11,529	17,515	20,859	21,775	24,111	22,879
資産合計		55,644	56,509	54,327	64,675	82,916	78,491	76,959	81,482	77,289
負債の部										
支払手形・買掛金		1,653	2,735	1,703	3,246	4,785	1,284	2,326	1,848	1,657
短期有利子負債(リース債務含む)		757	510	489	472	414	403	403	402	402
契約負債(従来、前受金と表記)		20,109	13,989	8,922	9,831	19,060	14,743	9,441	10,841	9,308
流動負債		25,923	19,826	13,655	17,057	28,400	19,097	14,812	16,895	14,630
固定負債		1,659	1,864	1,157	1,535	2,357	2,478	2,637	2,777	2,637
純資産		28,063	34,819	39,515	46,084	52,159	56,916	58,881	61,810	60,022
キャッシュ・フロー										
営業キャッシュ・フロー		9,572	16,233	-535	10,686	8,561	3,180	-	1,353	-
投資キャッシュ・フロー		-2,964	-2,432	-1,048	376	-4,396	-3,599	-	-1,618	-
フリーキャッシュ・フロー		6,608	13,801	-1,583	11,061	4,165	-419	-	-265	-
財務キャッシュ・フロー(現金・同等物換算差額含む)		-10,054	-2,359	-2,467	-2,735	-2,172	-2,207	-	-609	-

注: 数値は百万円以下を四捨五入で算出、受取手形・売掛金は貸倒引当金を考慮、短期有利子負債は短期借入金とリース債務の合計

四半期ベースの受注高と売上高



図表3: 四半期ベースの受注高、事業領域別売上高とBBLレシオ



注: 売上高の光学領域はAIスマホ、EV/コネクテッドカー、光学部品、半導体光学融合領域は光電子、イメージセンサー、空間コンピュータ、電子デバイス領域はグリーンエネルギー、通信デバイス、MEMSデバイスを含む、図表の半導体光学は半導体光学融合領域と電子デバイス領域の合計、パーツサービス・他は主に消耗品

事業領域別受注高及び売上高

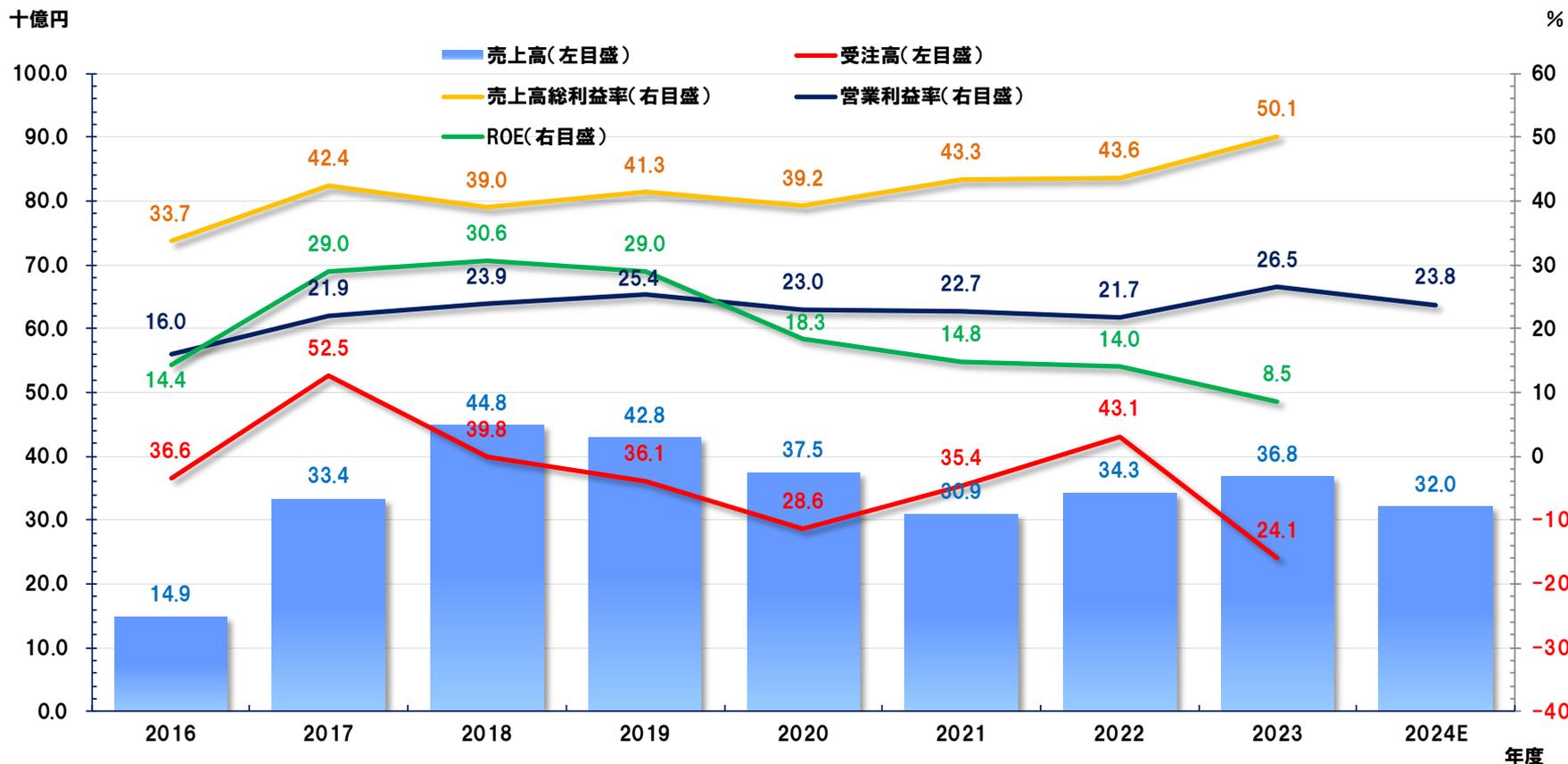


図表4: 事業領域別受注高及び売上高、ALD比率や収益性指標など(単位:百万円、円/ドル、%)

年度・四半期	2023				2024				前四半期比	前年比	2023		2024	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	1-3Q			1-3Q	前年比		
受注高														
光学領域	15,973	7,386	2,214	2,415	3,958	7,952	3,783	5,056	33.7	109.4	12,015	16,791	39.8	
AIスマートフォン	8,305	5,053	550	845	1,857	5,487	944	1,896	100.7	124.3	6,449	8,328	29.1	
EV/コネクテッドカー	3,274	846	421	544	1,463	1,299	1,452	1,022	-29.6	87.8	1,811	3,773	108.3	
光学部品	4,393	1,486	1,243	1,026	638	1,165	1,386	2,139	54.3	108.5	3,755	4,690	24.9	
半導体光学融合・電子デバイス領域	1,826	455	948	52	371	615	141	950	573.9	1,728.0	1,455	1,706	17.3	
パーツサービス・他	2,518	770	641	602	505	985	1,444	225	-84.4	-62.6	2,013	2,655	31.9	
受注高小計	20,316	8,610	3,802	3,069	4,835	9,552	5,368	6,232	16.1	103.0	15,482	21,152	36.6	
為替影響	3,764	953	2,283	1,229	-701	1,584	1,933	-2,040	-	-	4,465	1,477	-66.9	
受注高合計	24,080	9,563	6,085	4,298	4,134	11,136	7,301	4,192	-42.6	-2.5	19,947	22,629	13.4	
ALD比率(%)	7%	6%	0%	7%	16%	24%	4%	0%	-4%	-7%	4%	11%	8%	
受注残高	24,219	37,447	31,670	27,960	24,219	24,058	25,979	21,659	-16.6	-22.5	27,960	21,659	-22.5	
売上高														
光学領域	31,116	7,148	10,694	6,056	7,218	10,243	4,272	7,781	82.2	28.5	23,898	22,296	-6.7	
AIスマートフォン	20,489	3,690	8,317	3,996	4,486	7,686	1,916	5,289	176.1	32.4	16,003	14,891	-6.9	
EV/コネクテッドカー	3,069	1,392	391	431	854	1,174	1,582	1,273	-19.5	195.1	2,214	4,029	81.9	
光学部品	7,558	2,066	1,986	1,629	1,877	1,383	774	1,219	57.6	-25.1	5,681	3,376	-40.6	
半導体光学融合・電子デバイス領域	3,300	1,260	536	1,354	151	233	554	63	-88.6	-95.3	3,149	850	-73.0	
パーツサービス・他	2,391	655	632	599	505	822	554	667	20.2	11.3	1,886	2,043	8.3	
売上高合計	36,807	9,063	11,862	8,009	7,874	11,298	5,380	8,511	58.2	6.3	28,933	25,189	-12.9	
ALD比率(%)	34%	22%	47%	42%	20%	30%	19%	26%	7%	-16%	38%	26%	-11%	
売上高総利益率(%)	50.1%	50.5%	50.2%	53.9%	45.8%	52.4%	40.3%	48.1%	7.8%	-5.8%	51.3%	48.4%	-3.0%	
売上高営業利益率(%)	26.5%	28.8%	34.1%	23.8%	15.0%	35.1%	-0.4%	27.9%	28.4%	4.1%	29.6%	25.1%	-4.5%	
売上高純利益率(%)	12.6%	15.5%	17.4%	7.8%	6.8%	29.1%	-2.1%	26.6%	28.7%	18.8%	14.2%	21.6%	7.4%	
為替														
円/ドル(受注調整レート)	141.83	133.53	144.99	149.58	141.83	151.41	161.07	142.73	18.34	6.85	149.58	142.73	6.85	
円/ドル(売上計上レート)	137.97	134.75	134.24	140.93	141.95	144.77	147.31	149.45	-2.14	-8.52	136.64	147.17	-10.53	

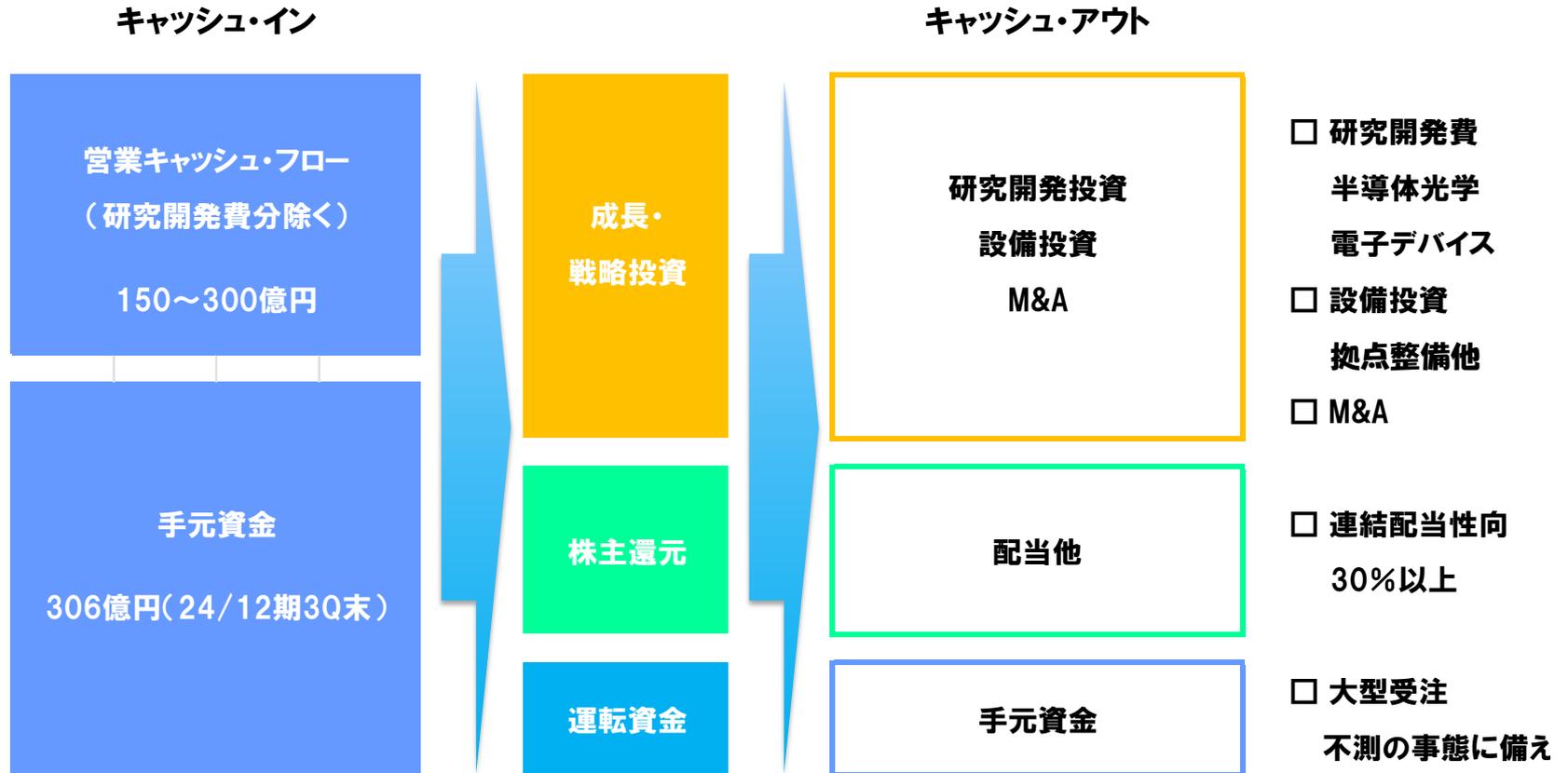
注: 受注高のALD比率は為替影響を除くベース、為替、利益率、比率の前四半期比及び前年比の欄は増減

図表5: 受注高、売上高及び収益性・収益力指標



注: 24/12期4Qの為替前提は145円/ドル、21.0円/人民元。営業利益感応度(年換算)は1円/ドルの円高で△1.5億円、0.1円/人民元の円高で+1億円

図表6: キャッシュ・アロケーション(3カ年)



図表7:設備投資・減価償却費・研究開発費

日本本社 鶴ヶ島



- 半導体光学・電子デバイス等、先端分野研究開発拠点、2024年4月に稼働

半導体技術 上海

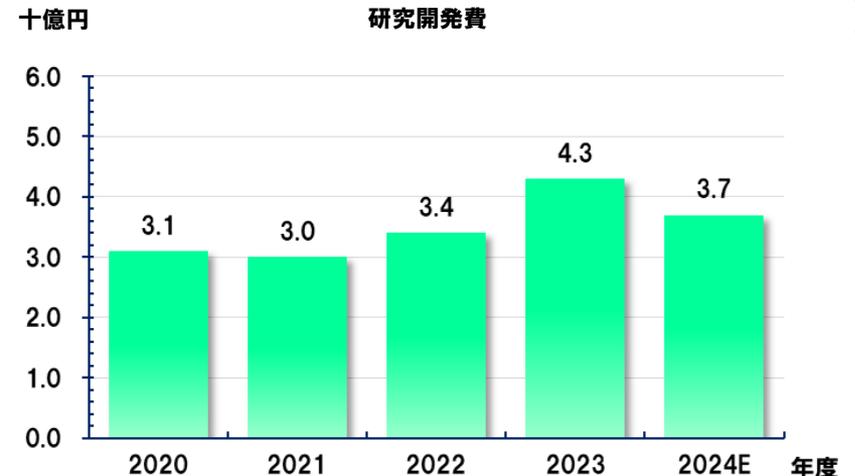
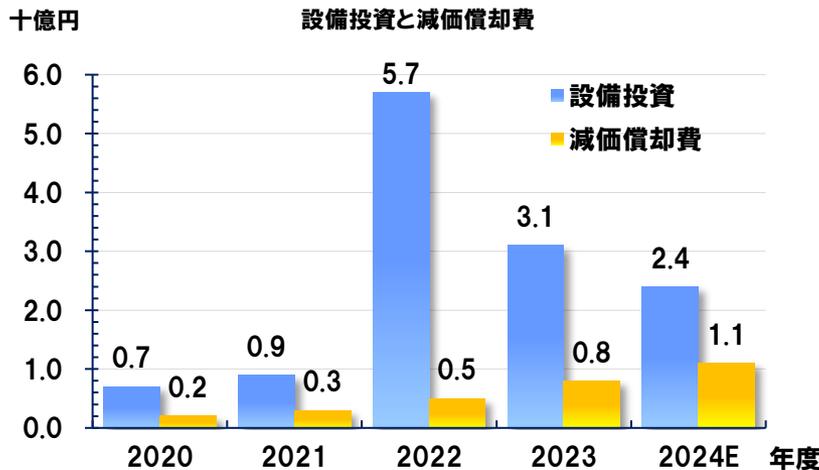


- ALD装置等の新技術装置の生産・研究開発拠点、2024年1月に稼働

ベトナム ハノイ近郊



- 装置設計・東南アジアの顧客への装置据付・保守修理、部品加工販売
2023年12月に稼働



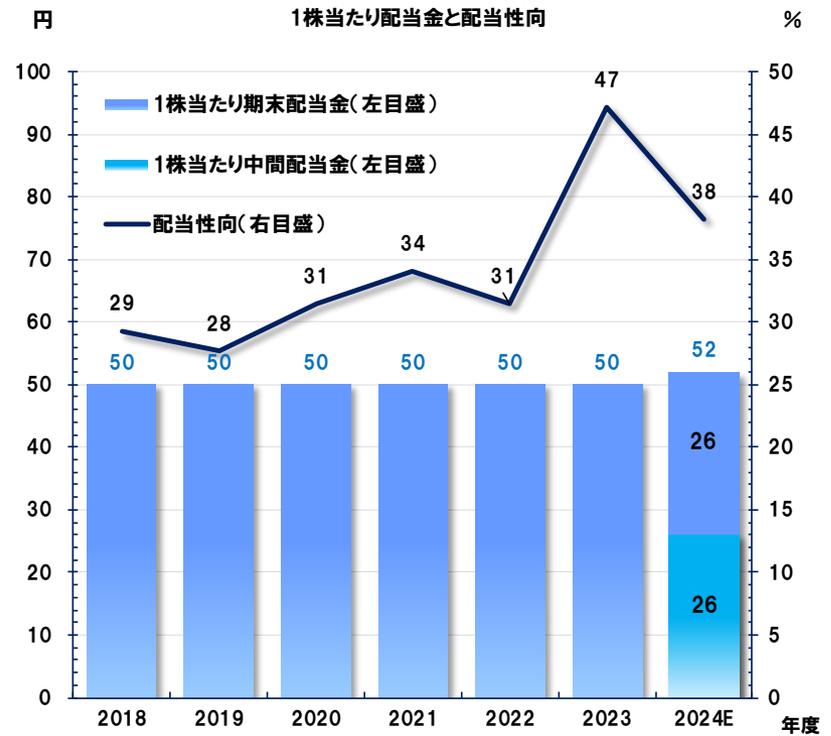
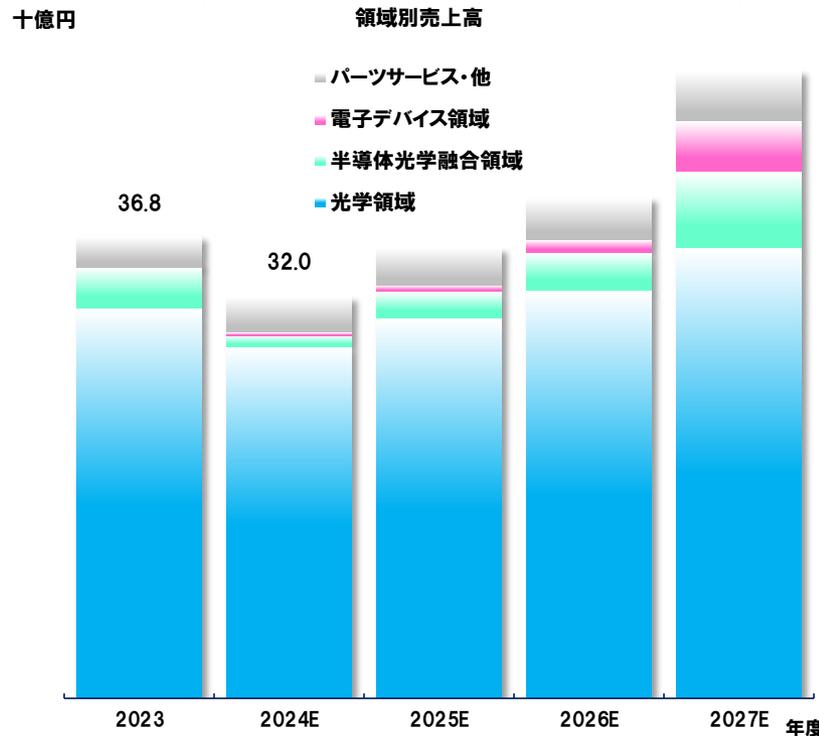


中期経営目標と戦略技術開発

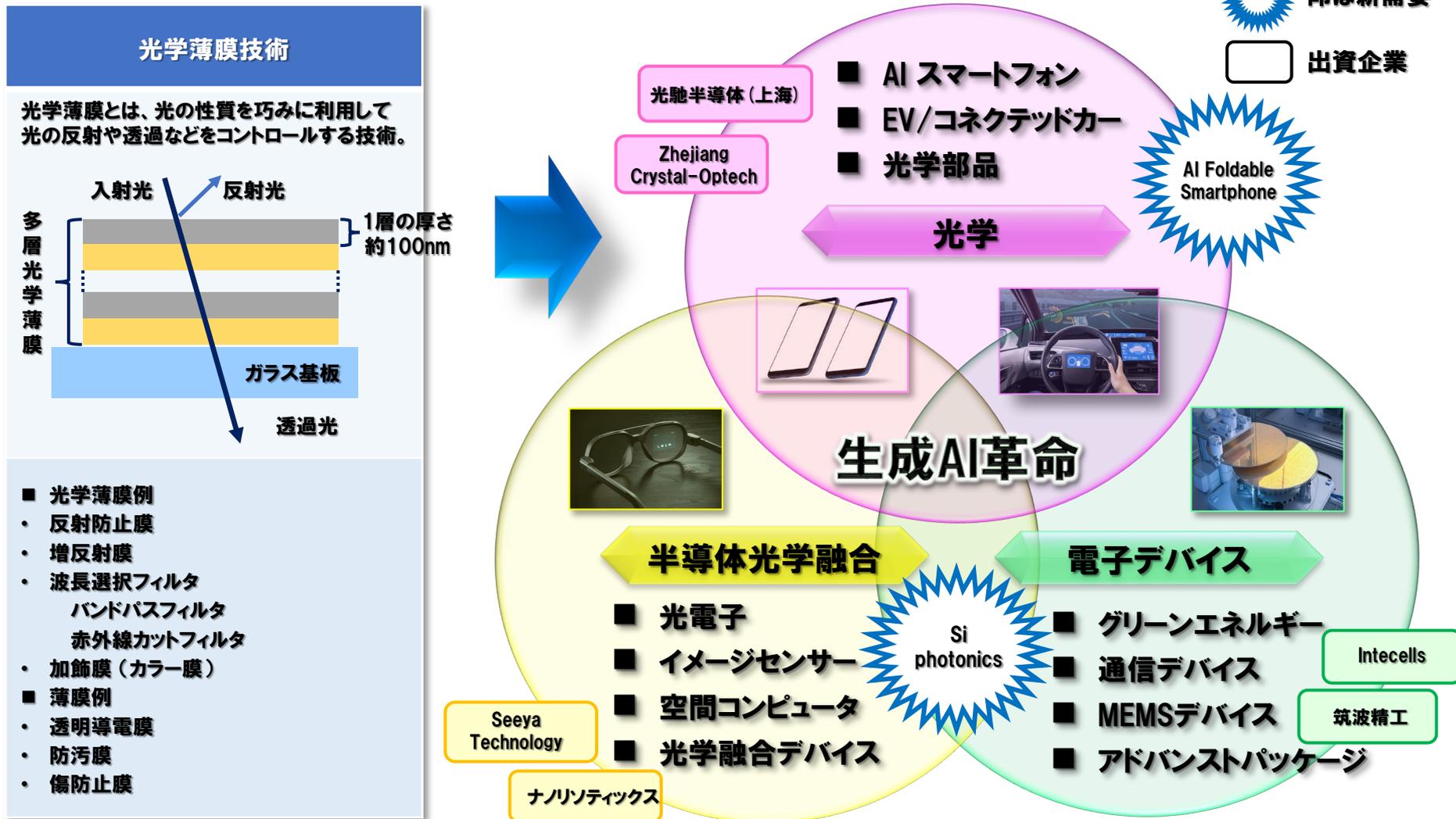
□ 中期経営計画と次期事業戦略

経営目標として、営業利益率20%超、ROE(自己資本利益率)10%超を想定。株主価値の向上に向けて、連結配当性向30%以上を前提とする安定配当と機動的・戦略的な自己株式取得を検討している。24/12期の年間1株当たり配当金は52円(中間配当金26円)を計画。次期事業戦略において、事業領域展開に示すとおり、光学に加えて半導体光学融合や電子デバイスを事業成長の柱にする方針。新中期経営目標は24/12期通期の決算発表会で公表する予定。

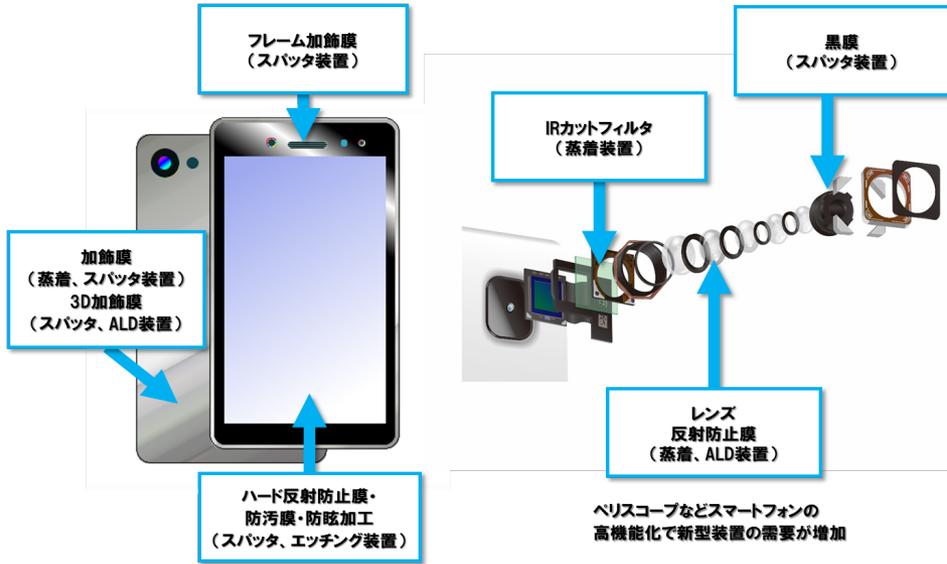
図表8: 事業領域別中期経営目標(イメージ)と1株当たり配当金



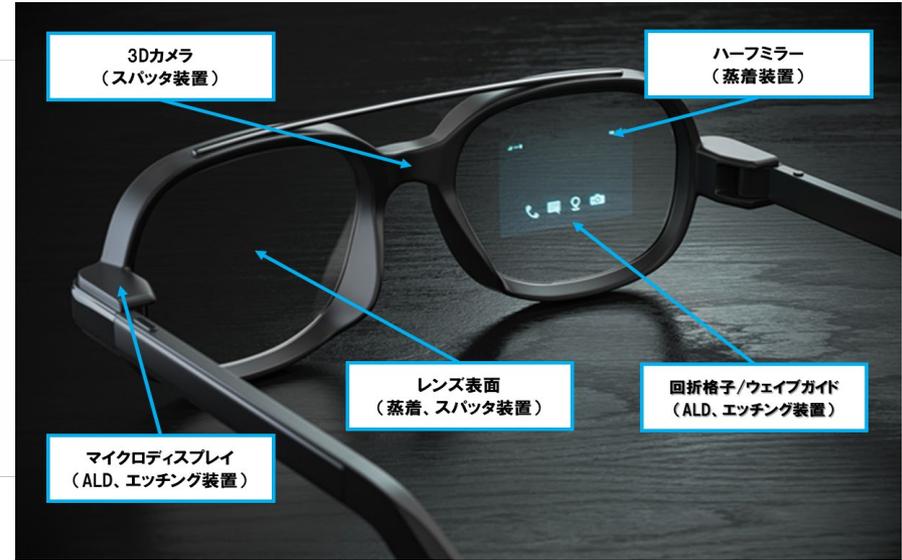
図表9: オプトランの光学薄膜技術、新事業領域と出資企業



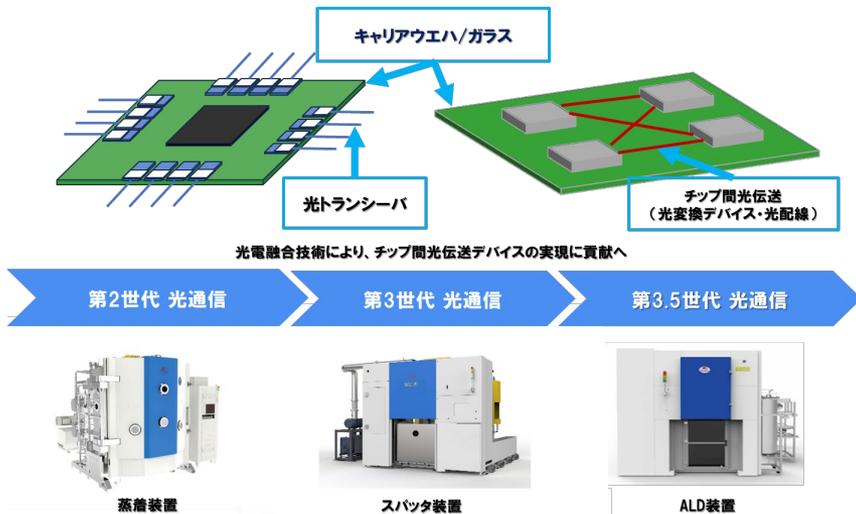
図表10: AIスマートフォン向け光学薄膜装置



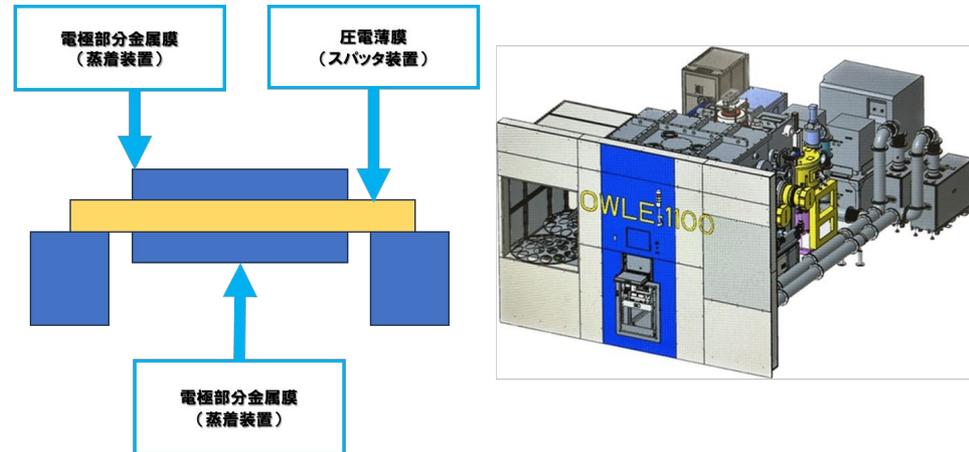
空間コンピュータ向け半導体光学融合装置



光電融合デバイス向け半導体光学融合装置



BAWフィルタ(バルク表面波フィルタ)向け電子デバイス装置



注:BAWフィルタとは、Bulk Acoustic Wave Filterの略称で、2GHz以上を使う移動体通信システムで必要不可欠であり、SAWC Surface Acoustic Wave:弾性表面波)フィルタは800MHz~2GHzで使用される

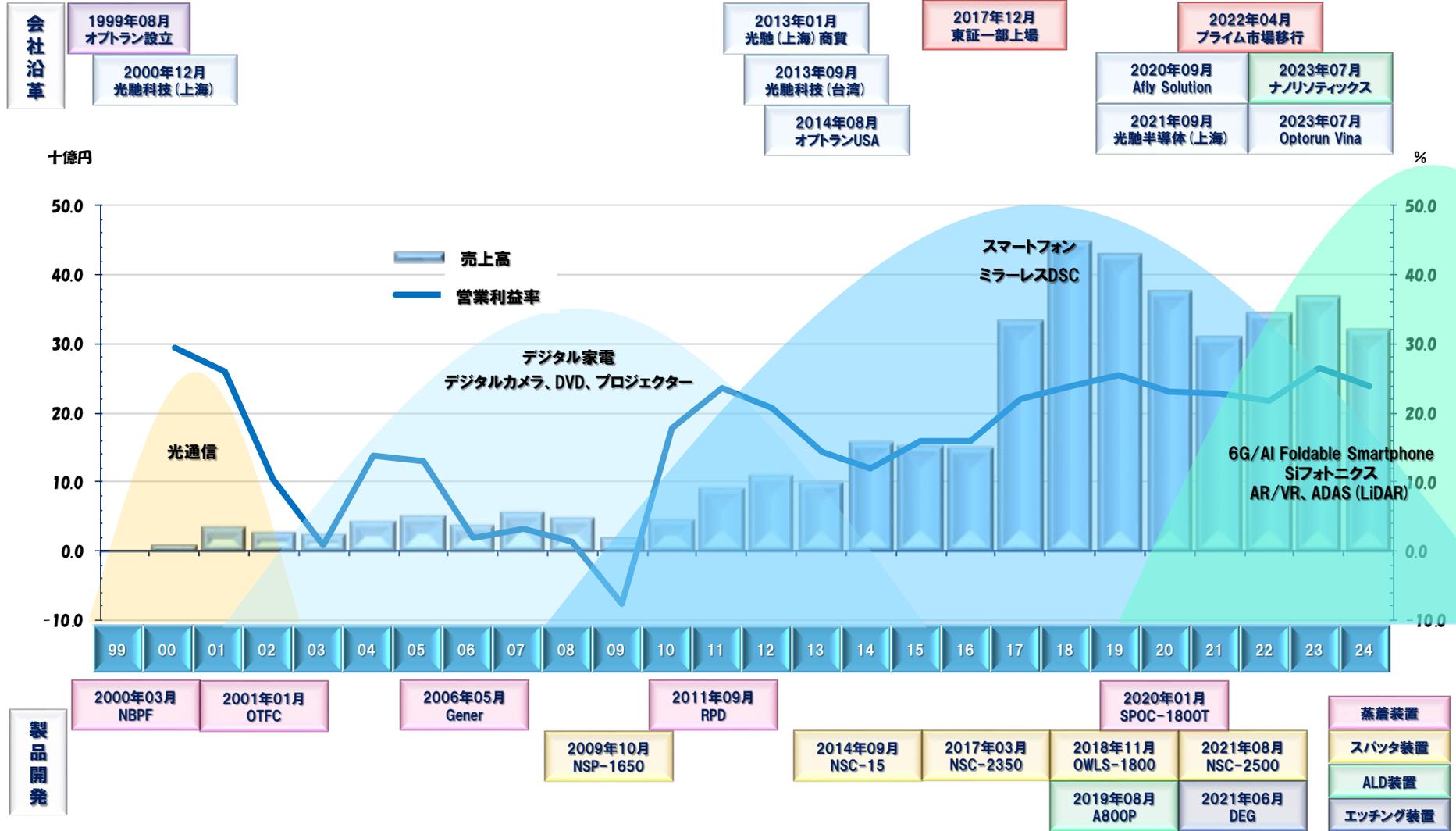
図表11: オプトランの光学薄膜装置と仕組み

蒸着装置	スパッタリング装置	ALD(原子層堆積)装置
<p>真空中で蒸着材料を熱して蒸発または昇華させ、基板表面に付着させることで薄膜を形成させる装置。風呂場に材料をいれ、真空加熱する様なもの。</p>	<p>真空蒸着における熱の代わりに、ガス分子を薄膜材料にぶつけて薄膜を形成させる装置。スパッタリングの身近な例は古くなった蛍光灯は端が黒い。</p>	<p>原子層レベルで膜厚を制御して平坦で緻密な薄膜を形成する装置。平面基板からアスペクト比(縦横比)の高い立体構造物まで均一に成膜できる。</p>

会社沿革、製品開発、アプリケーション需要と業績



図表12: オプトランの会社沿革、製品開発、アプリケーション需要と業績(売上高と営業利益率)



2024年10月に当社孫会社である光馳半導体技術有限公司によるQuzhou Lingben Juguang Equity Investment Fundを割当先として、2億元(約40億円(20.46円/人民元))の第三者割当増資を実施いたしました。

当該増資は、中国市場での装置需要開拓や新規顧客開拓を加速させるとともに、研究開発強化・生産能力増強等の設備投資へ充当する予定であります。

なお、本取引が当社の2024/12期連結業績に与える影響については、限定的と判断しています。

□ 将来の見通しについて

本資料には、「将来の見通しに関する記述」が含まれています。この記述には、当社の事業と市場における予想される成長と傾向、業界の見通しと需要要因、当社の投資と成長戦略、新製品と新技術の開発、現在および今後の事業見通しに関するものが含まれます。今後、さまざまな外部要因・内部要因の変化により、予想・計画見通しと大きく異なる可能性があります、更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。

□ 為替リスクについて

当社の主力製品である製造装置の輸出売上高は、米ドル建ての依存度が高いことから、米ドルの為替変動の影響を受けます。製造原価は中華圏生産の依存度が高いことから、中国元の変動影響を受けます。業績見通しの為替前提は、過去の実績を踏まえて想定し、為替変動影響の軽減を目指しています。当社の輸出先は中華圏の依存度が高いものの、最終需要先は世界的に広がっています。

□ 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について

当社は資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応方針として、中期経営計画の経営目標において「営業利益率」、「ROE」を定めています。株主価値の向上にむけて、安定配当と機動的・戦略的な自己株式取得を行う想定にしております。ただ、持続的な成長を見据え、積極的な研究開発、設備投資、M&Aなど含む戦略的事業提携を計画しています。問い合わせ先は、E-mail:ir-info@optorun.co.jp

